

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年5月4日

事業所名 きらら守口

はい、いいえの数字※回答者数 ※合計が8に満たない所は未回答あるため。 <職員数>8名 <回答者数>8名 回答率100%

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|--|----|--------------------------------|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | | 利用人数が多い日は机を片付けスペースを作って活動したり等工夫している。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 8 | | 職員相互間で連携よく声掛けし合い適切な支援を行っている。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 3 | 2 | 室内ではクッション性の物で段差を緩やかにし、トイレ・段差は支援者が寄り添っている。 | 車いすが入れるスペース、手すり等があればいい。トイレ・段差等今後改善が必要な箇所がある。⇒物理的な制約があるが今後の検討課題とする。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 4 | 1 | 事前・事後対応を話し合っている。 | 常勤職員間はミーティング等でできていると思うがパート職員は全て把握できていない(情報収集に努めたい)。一部の職員に偏っている。⇒常勤職員/非常勤職員間の疎通については今後一層の工夫を行っていく。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | | 私(パート職員)はできていないので「どちらともいえない」にした。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4 | | (H30年度分からHPで公開している) | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 1 | 2 | | 外部からの評価を行っていない。(どちらともいえない「5名」) ⇒今後の検討課題とする。 |
| 適切な支援の提供 | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | | 痙攣発作、虐待の研修は実施。(どちらともいえない「2名」) 【対策】今後は内容・回数とも増やし、質の向上を目指したい。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | | | 全職員が内容全てを把握しているとはいえないところがある(のが実態)。【対策】全職員がサービス計画内容を把握し利用者支援を行うよう事業所として徹底する。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 7 | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | | チームで考えて様々な角度から意見を出し合い立案することが望ましい。⇒常勤職員/非常勤職員間の疎通については今後一層の工夫を行っていく。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | 内容重ならないよう工夫している。各利用者毎に何がよいのか試行錯誤しながらトレーニングを実施している。 | チームで考えて様々な角度から意見を出し合い立案することが望ましい。⇒常勤職員/非常勤職員間の疎通については今後一層の工夫を行っていく。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 7 | | 屋外での活動も取り入れる等工夫している。 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | | 適正に応じて(その日の予定が難しいようなら)変更して支援を行っている。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | | 始業前に打合せがあり前日の様子も伝えあっている。 | 始業前ミーティングで様々な確認・指示があるが非常勤職員(昼前後始業)の中には「確認・指示等」の打合せなく支援を行うケースもある(利用者降所後の夕刻から夜にかけての時間帯も退社で不在)ため「書面申し送り等」での徹底が必要か。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | 1 | | 学校がある平日は翌日朝に振り返り・打ち合わせ(MTG)を実施できているが、学校が休みの日で朝から開所している日については利用者送迎対応(早朝/夕方～夜)や職員の勤務体制の問題がありMTGができないことが多い。今後の改善が必要。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | | | 記録はとれているがその後の支援に繋がっているかどうかは疑問な節もある。今後の(更なる)改善が必要。 |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | 外部機関の助言も取り入れ定期的なモニタリングを実施している。 | | |

| | | | |
|----|---------------------------------|---|---------------------------|
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている | 6 | マンネリ化とならないよう工夫した支援を行っている。 |
|----|---------------------------------|---|---------------------------|

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|--|------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 8 | | 有資格者がきっちり参加している。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 7 | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 5 | | 対象となる児童いない。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 6 | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 7 | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 3 | 4 | | 相手先が閉鎖的な機関多いため交流できないケースが多い。⇒今後の課題。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 6 | | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | | 送迎時・面談時や電話などで保護者が相談しやすい事業所であると思う。親身になって関わっている。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 7 | 1 | | 本項目の踏み込んだ対応は今後の課題。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 8 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 4 | 2 | | 今後の課題。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 8 | | 職員ミーティングで内容報告・確認している。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 8 | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 8 | | | ミスが何件かあるため改善が必要。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 8 | | 児童に対しては絵カード・視覚カードを使い見てわかるように伝えている。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 3 | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---------------------------------|---------------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | | 各種マニュアルをファイルしてあるので普段からしっかり目を通して | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | | | 定期的に行えていない。避難訓練を定期的に行う必要があると思う。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | | 実施している。 | 新しい職員が増えているので毎年の継続実施が必要。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | 1 | 該当利用者いない。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 8 | | ファイルがあり定期的に見ている。 | |